

令和3年度

学校評価報告書

◆4年間の中期重点目標（平成30～令和3年度）と今年度の重点目標（太字ゴシック）

- (1) 人間としての在り方生き方の軸をつくる
 - ①**キャリア在り方生き方教育の推進**
 - ②生徒会活動の充実
 - ③**あいさつ活動の推進**
- (2) 学ぶ意欲を育て「生きる力」を伸ばす
 - ④確かな学力の育成
 - ⑤豊かな心の育成
 - ⑥健やかな心身の育成
 - ⑦**ICT教育の推進**
- (3) 一人一人の教育的ニーズに対応する
 - ⑧支援教育の推進
 - ⑨**かわさき共生*共育プログラムの実施と活用**
 - ⑩いじめ・不登校の未然防止と早期対応
- (4) 良好な教育環境を整備する
 - ⑪防災教育・安全教育の推進
 - ⑫快適な教育環境の整備
 - ⑬部活動の安定的な運営
- (5) 学校の教育力を強化する
 - ⑭教職員研修の充実
 - ⑮**学校評価を生かした教育活動の推進**
 - ⑯適正な校務の遂行と公務員倫理の確立
 - ⑰体罰や不適切な指導の根絶
- (6) 家庭・地域と連携する
 - ⑱教育相談の充実と家庭、地域との連絡・連携の徹底
 - ⑲基本的な生活習慣の確立
 - ⑳情報発信の充実

◆総合的な学習の時間研究推進校（令和2～令和3年度）としての取組

- (1) 研究主題
よりよい社会を創り上げる豊かな人間の育成をめざした「総合的な学習の時間」における教育課程の研究 ～「キャリア在り方生き方教育」を礎に据えて～

令和4年3月

川崎市立南生田中学校

学校評価の目的

教育活動の改善・充実を図ります

Plan (計画)

重点目標の
設定

Do (実践)

教育活動の
実践

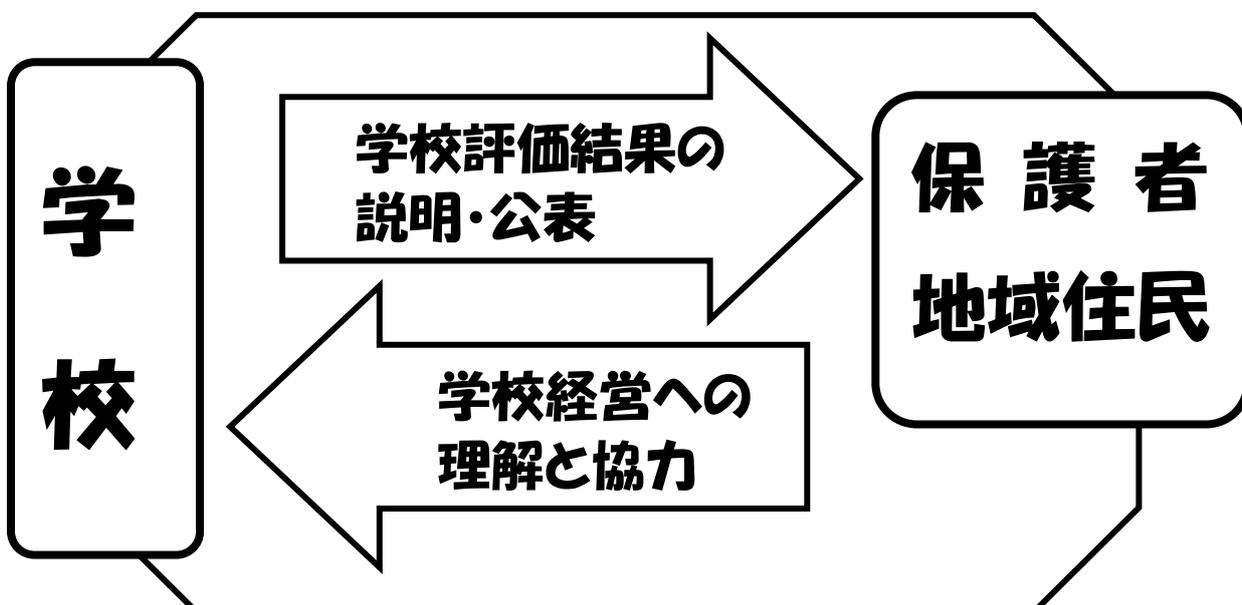
Check (評価)

達成状況の
評価・検証

Action (改善)

教育活動の
改善・充実

信頼される開かれた学校づくりを推進します



学校評価の種類

自己評価

教職員が重点目標の達成状況について評価し（10点満点）、成果や課題等を整理することにより、次年度に向けての改善の方向性等を検討します。

学校関係者評価

学校教育推進会議が教職員の自己評価結果に基づき、その適切さについて検証します。

評価計画

自己評価

Plan

経営計画と重点目標の設定（3月）

- 学校説明会の開催
- HPによる公表

評価計画・項目の設定（4月）

Do

教育活動の展開（4～3月）

- 学習や行事、日常的な取組
- 学年会・分掌部会等の定期的な開催

- 学校・学年・学級だより等の継続的な発行
- HPの更新
- 授業参観・懇談会の開催
- ふれあい広場の実施

Check

生徒・保護者アンケートの実施と分析・まとめ（1月）

自己評価の実施（1月）

- 全教職員による評価
- 評価結果のまとめ
- 課題の整理と改善策の検討

学校評価報告書の作成（2月）

評価結果の公表（3月）

- 保護者への配付
- HPによる公表
- 市教委への提出（3月）

Action

年度末のまとめ（3月）

- 評価結果に基づく教育活動の見直しと改善
- 次年度の計画と目標の設定

学校関係者評価

学校運営協議会による評価

- 地域代表 保護者代表
- 生徒代表 教職員代表

第1回学校運営協議会（5月）

- 学校からの経営計画、重点項目・実践計画等についての説明

第2・3回学校運営協議会

（10・11月）

授業や行事の参観

教職員、児童生徒、保護者、地域からの意見聴取

第4回学校運営協議会（2月）

- 自己評価に基づく評価

(1) 人間としての在り方生き方の軸をつくる

重点目標	①キャリア在り方生き方教育の推進 ②生徒会活動の充実 ③あいさつ活動の推進	
自己評価	評 価 の 観 点	評 価
	①キャリア在り方生き方教育の推進を行っている	7.7
	②生徒会活動の充実を図っている	7.5
	③あいさつ活動の推進に努めている	8.0
生徒アンケート	① あなたはキャリア学習に前向きに取り組んでいますか。	
	② あなたは生徒が主体となる行事や委員会活動に進んで取り組んでいますか。	
	③ あなたは進んであいさつができますか。	
		■十分達成 ■おおむね達成 ■やや不十分 ■不十分
保護者アンケート	① お子さんはキャリア学習に前向きに取り組んでいますか。	
	② お子さんは生徒が主体となる行事や委員会活動に進んで取り組んでいますか。	
	③ お子さんは進んであいさつができますか。	
		■十分達成 ■おおむね達成 ■やや不十分 ■不十分 □わからない

〔成果と課題〕

教職員による自己評価では、②「生徒会活動の充実を図っている」の肯定的回答が、前年度より0.7ポイント下がった。これは、新型コロナ禍にあって生徒が主体となって取り組む行事が実施できなかったことが影響していると考えられる。また、他の項目は前年度との有意差が見られなかった。

生徒アンケート及び保護者アンケートでは、③「進んであいさつができるか」の肯定的回答が、昨年度より生徒20ポイント、保護者22ポイント上がった。これは、本年度の重点目標とした項目であり、生徒や教職員が意識をして取り組んだ成果が表れたものとする。来校者から「挨拶ができる生徒ですね」と評価をいただく場面がいくつもあり、それを生徒へ発信したことも生徒の意識を高めることにつながったと考える。また、他の項目では前年度との優位差が見られなかった。

(2) 学ぶ意欲を育て「生きる力」を伸ばす

重点目標	④確かな学力の育成 ⑤豊かな心の育成 ⑥健やかな心身の育成 ⑦ICT教育の推進	
自己評価	評価の観点	評価
	④確かな学力の育成が図れるよう授業を工夫している	7.9
	⑤豊かな心の育成が図れる指導に努めている	8.4
	⑥健やかな心身の育成が図れる指導に努めている	8.5
	⑦ICTの活用を積極的に行っている	7.3
生徒アンケート	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>④ あなたには基礎・基本の学力がついてきていますか。</p> <p>⑤ あなたには優しさや思いやりの心が育っていますか。</p> <p>⑥ あなたには自分自身の健康に留意して生活する力がついてきていますか。</p> <p>⑦ あなたにはICTを活用する力がついてきていますか。</p> <p>■ 十分達成 ■ おおむね達成 ■ やや不十分 ■ 不十分</p>	
	<p>④ 34% 51% 12% 3%</p>	
	<p>⑤ 46% 47% 6% 2%</p>	
	<p>⑥ 42% 41% 14% 3%</p>	
保護者アンケート	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>④ お子さんに基礎・基本の学力がついてきていますか。</p> <p>⑤ お子さんに優しさや思いやりの心が育っていますか。</p> <p>⑥ お子さんに自分自身の健康に留意して生活する力がついてきていますか。</p> <p>⑦ お子さんにICTを活用する力がついてきていますか。</p> <p>■ 十分達成 ■ おおむね達成 ■ やや不十分 ■ 不十分 □ わからない</p>	
	<p>④ 34% 38% 15% 8% 4%</p>	
	<p>⑤ 59% 34% 4% 2% 0%</p>	
	<p>⑥ 37% 45% 14% 3% 1%</p>	
<p>⑦ 30% 43% 8% 3% 17%</p>		

〔成果と課題〕

教職員による自己評価では、④「確かな学力の育成が図れるよう授業を工夫している」の肯定的回答が、前年度より0.7ポイント、⑦「ICTの活用を積極的に行っている」の肯定的回答が0.6ポイント下がった。これは、学習指導要領の全面実施の年度にあたり、教員が指導内容の確認を行う中で授業の工夫を行ったり、ICTの活用を行ったりするにあたり、成果よりも課題を捉えるところが多くあったからと考える。また、他の項目は有意差が見られなかった。

生徒アンケートでは、⑤の肯定的回答が9ポイント、⑦の肯定的回答が8ポイント上がり、保護者アンケートでは、④の肯定的回答が5ポイント、⑤の肯定的回答が18ポイント、⑦の肯定的回答が22ポイント上がった。しっかりと学ぶという生徒自身の自覚と学ぶ我が子を認める保護者の姿があると考えられる。また、他の項目では優位差が見られなかった。

(3) 一人一人の教育的ニーズに対応する

重点目標	⑧支援教育の推進 ⑨かわさき共生*共育プログラムの実施と活用 ⑩いじめ・不登校の未然防止と早期対応																									
自己評価	評価の観点	評価																								
	⑧支援教育の推進に努めている	7.8																								
	⑨かわさき共生*共育プログラムの実施と活用に努めている	6.9																								
	⑩いじめ・不登校の未然防止と早期対応に努めている	8.1																								
生徒アンケート	<table border="1"> <caption>生徒アンケート結果</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>十分達成</th> <th>おおむね達成</th> <th>やや不十分</th> <th>不十分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>⑧ 本校が学びを支援する学習相談室やオープン教室を設けていることを知っていますか。</td> <td>58%</td> <td>19%</td> <td>12%</td> <td>11%</td> </tr> <tr> <td>⑨ 本校がアンケートやQUを実施し生徒理解に努めていることを知っていますか。</td> <td>43%</td> <td>33%</td> <td>16%</td> <td>8%</td> </tr> <tr> <td>⑩ 本校がいじめや不登校の未然防止に努めていることを知っていますか。</td> <td>23%</td> <td>34%</td> <td>24%</td> <td>18%</td> </tr> </tbody> </table>		項目	十分達成	おおむね達成	やや不十分	不十分	⑧ 本校が学びを支援する学習相談室やオープン教室を設けていることを知っていますか。	58%	19%	12%	11%	⑨ 本校がアンケートやQUを実施し生徒理解に努めていることを知っていますか。	43%	33%	16%	8%	⑩ 本校がいじめや不登校の未然防止に努めていることを知っていますか。	23%	34%	24%	18%				
項目	十分達成	おおむね達成	やや不十分	不十分																						
⑧ 本校が学びを支援する学習相談室やオープン教室を設けていることを知っていますか。	58%	19%	12%	11%																						
⑨ 本校がアンケートやQUを実施し生徒理解に努めていることを知っていますか。	43%	33%	16%	8%																						
⑩ 本校がいじめや不登校の未然防止に努めていることを知っていますか。	23%	34%	24%	18%																						
保護者アンケート	<table border="1"> <caption>保護者アンケート結果</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>十分達成</th> <th>おおむね達成</th> <th>やや不十分</th> <th>不十分</th> <th>わからない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>⑧ 本校が学びを支援する学習相談室やオープン教室を設けていることを知っていますか。</td> <td>27%</td> <td>24%</td> <td>12%</td> <td>17%</td> <td>20%</td> </tr> <tr> <td>⑨ 本校がアンケートやQUを実施し生徒理解に努めていることを知っていますか。</td> <td>18%</td> <td>30%</td> <td>21%</td> <td>13%</td> <td>18%</td> </tr> <tr> <td>⑩ 本校がいじめや不登校の未然防止に努めていることを知っていますか。</td> <td>18%</td> <td>39%</td> <td>16%</td> <td>11%</td> <td>16%</td> </tr> </tbody> </table>		項目	十分達成	おおむね達成	やや不十分	不十分	わからない	⑧ 本校が学びを支援する学習相談室やオープン教室を設けていることを知っていますか。	27%	24%	12%	17%	20%	⑨ 本校がアンケートやQUを実施し生徒理解に努めていることを知っていますか。	18%	30%	21%	13%	18%	⑩ 本校がいじめや不登校の未然防止に努めていることを知っていますか。	18%	39%	16%	11%	16%
項目	十分達成	おおむね達成	やや不十分	不十分	わからない																					
⑧ 本校が学びを支援する学習相談室やオープン教室を設けていることを知っていますか。	27%	24%	12%	17%	20%																					
⑨ 本校がアンケートやQUを実施し生徒理解に努めていることを知っていますか。	18%	30%	21%	13%	18%																					
⑩ 本校がいじめや不登校の未然防止に努めていることを知っていますか。	18%	39%	16%	11%	16%																					

〔成果と課題〕

教職員による自己評価では、⑧「支援教育の推進に努めている」の肯定的回答が、前年度より0.6ポイント、⑩「いじめ・不登校の未然防止と早期対応に努めている」の肯定的回答が0.5ポイント下がった。これは、不登校生徒が全校生徒の6.7%ある本校において、不登校の未然防止に努めること、学習やコミュニケーション等に課題のある生徒の支援を進めていくことの重要性を感じていることの表れと考える。また、他の項目は有意差が見られなかった。

生徒アンケート及び保護者アンケートでは、⑧の肯定的回答が生徒7ポイント、保護者19ポイント、⑨の肯定的回答が生徒12ポイント、保護者23ポイント下がった。本校で進めている支援教育の取組や生徒理解につなげるアンケートやQUの取組を保護者に周知する工夫をしていく必要があると考える。また、他の項目では優位差が見られなかった。

(4) 良好な教育環境を整備する

重点目標	①防災教育・安全教育の推進 ②快適な教育環境の整備 ③部活動の安定的な運営	
自己評価	評価の観点	評価
	①防災教育・安全教育の推進に努めている	8.0
	②快適な教育環境の整備を進めている	8.1
	③部活動の適正な運営に努めている	7.4
生徒アンケート		
	① 本校は避難訓練の実施や防災学習の推進に努めていますか。	
	② 本校は快適な学校生活の充実を図るため教育環境の整備に努めていますか。	
	③ 本校は川崎市立学校の部活動に係る方針及び本校方針に則り部活動が行われていますか。	
保護者アンケート		
	① 本校は避難訓練の実施や防災学習の推進に努めていますか。	
	② 本校は快適な学校生活の充実を図るため教育環境の整備に努めていますか。	
	③ 本校は川崎市立学校の部活動に係る方針及び本校方針に則り部活動が行われていますか。	

〔成果と課題〕

教職員による自己評価では、⑬「部活動の適正な運営に努めている」の肯定的回答が、前年度より0.6ポイント下がった。これは、新型コロナ禍にあって日常や夏休みの部活動に制限がかかり、活動が十分に行えなかったことによるものと考えられる。また、他の項目は有意差が見られなかった。

生徒アンケートでは、⑪の肯定的回答が17ポイント、⑬の肯定的回答が6ポイント上がり、保護者アンケートでは、⑫の肯定的回答が5ポイント下がり、⑬の肯定的回答が16ポイント上がった。生徒、保護者ともに肯定的回答が上がった⑬については、新型コロナ禍の中、川崎市のガイドラインを示した上で活動を制限したり、実施したりしたことが方針に則っているという評価につながったと考える。保護者アンケートの⑫のポイントが下がったことについては、行事等の参加に制限をかけたり、行事が実施できなかったりすることにより、校内に入る機会が減少していることに原因の一端があると考えられる。また、他の項目では優位差が見られなかった。

(5) 学校の教育力を強化する

重点目標	⑭教職員研修の充実 ⑮学校評価を生かした教育活動の推進 ⑯適正な校務の遂行と公務員倫理の確立 ⑰体罰や不適切な指導の根絶	
自己評価	評 価 の 観 点	評 価
	⑭研修に取り組み資質の向上に努めている	7.5
	⑮学校評価を生かした教育活動の推進を図っている	7.5
	⑯適正な校務の遂行と公務員倫理の確立に努めている	9.2
	⑰体罰や不適切な指導の根絶に努めている	9.3
生徒アンケート		
	⑭ 本校は師弟同行の精神のもと、生徒と先生が力を合わせて教育に取り組んでいますか。	41% 46% 9% 4%
	⑮ 本校はアンケート等を行い、教育活動の改善に努めていますか。	53% 35% 9% 3%
	⑯ 本校は先生としての適正な姿勢を保つようにつとめていますか。	45% 42% 10% 3%
	⑰ 本校は体罰や不適切な指導の根絶が図られていましたか。	45% 22% 10% 23%
保護者アンケート		
	⑭ 本校は師弟同行の精神のもと、学校を上げて研究・研修を行っていましたか。	24% 37% 9% 4% 26%
	⑮ 本校はアンケートや学校運営協議会を実施し学校評価を行い教育活動を進めていましたか。	29% 44% 6% 2% 19%
	⑯ 本校では適正な公務の遂行と公務員倫理の確立が図られていましたか。	21% 42% 6% 3% 27%
	⑰ 本校では体罰や不適切な指導の根絶が図られていましたか。	34% 32% 6% 5% 23%

〔成果と課題〕

教職員による自己評価では、⑭「研修に取り組み資質の向上に努めている」の肯定的回答が、前年度より0.6ポイント下がった。これは、前年度には拡大要請訪問の実施や指導主事訪問による研修を実施したのに対し、今年度に予定していた指導主事訪問が新型コロナウイルスによる感染防止の観点から中止となり、校内職員による研修にとどまったことによるものと考えられる。また、他の項目は有意差が見られなかった。

生徒アンケートでは、⑮の肯定的回答が6ポイント上がり、⑰の肯定的回答が14ポイント下がり、保護者アンケートでは、⑭の肯定的回答が11ポイント下がり、⑮の肯定的回答が5ポイント上がり、⑯の肯定的回答が15ポイント下がり、⑰の肯定的回答が11ポイント下がった。生徒、保護者ともに肯定的回答が下がった⑰については、教職員の自己評価の9.3ポイントと大きな違いがみられることから、生徒、保護者に理解される姿の実現を目指していかなければならないと考える。また、他の項目では優位差が見られなかった。

(6) 家庭・地域と連携する

重点目標	⑱教育相談の充実と家庭、地域との連絡・連携の徹底 ⑲基本的な生活習慣の確立 ⑳情報発信の充実																									
自己評価	評価の観点	評価																								
	⑱教育相談の充実と家庭、地域との連絡・連携の徹底に努めている	8.4																								
	⑲基本的な生活習慣の確立に努めている	8.9																								
	⑳情報発信の充実を図っている	7.8																								
生徒アンケート	<table border="1"> <caption>生徒アンケート結果</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>十分達成</th> <th>おおむね達成</th> <th>やや不十分</th> <th>不十分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>⑱ 保護者は三者面談や授業参観、行事参観、PTA活動等に出席していますか。</td> <td>45%</td> <td>41%</td> <td>10%</td> <td>4%</td> </tr> <tr> <td>⑲ あなたは基本的な生活習慣が身に付いていますか。</td> <td>48%</td> <td>38%</td> <td>11%</td> <td>3%</td> </tr> <tr> <td>⑳ 保護者は学校からの便りやプリントを見ていますか。</td> <td>58%</td> <td>32%</td> <td>7%</td> <td>3%</td> </tr> </tbody> </table>		項目	十分達成	おおむね達成	やや不十分	不十分	⑱ 保護者は三者面談や授業参観、行事参観、PTA活動等に出席していますか。	45%	41%	10%	4%	⑲ あなたは基本的な生活習慣が身に付いていますか。	48%	38%	11%	3%	⑳ 保護者は学校からの便りやプリントを見ていますか。	58%	32%	7%	3%				
項目	十分達成	おおむね達成	やや不十分	不十分																						
⑱ 保護者は三者面談や授業参観、行事参観、PTA活動等に出席していますか。	45%	41%	10%	4%																						
⑲ あなたは基本的な生活習慣が身に付いていますか。	48%	38%	11%	3%																						
⑳ 保護者は学校からの便りやプリントを見ていますか。	58%	32%	7%	3%																						
保護者アンケート	<table border="1"> <caption>保護者アンケート結果</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>十分達成</th> <th>おおむね達成</th> <th>やや不十分</th> <th>不十分</th> <th>わからない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>⑱ 三者面談や授業参観、行事参観、PTA活動等に出席していますか。</td> <td>53%</td> <td>37%</td> <td>8%</td> <td>1%</td> <td>2%</td> </tr> <tr> <td>⑲ お子さんは基本的な生活習慣が身に付いていますか。</td> <td>47%</td> <td>42%</td> <td>8%</td> <td>1%</td> <td>3%</td> </tr> <tr> <td>⑳ 学校からの便りやプリントを見ていますか。</td> <td>61%</td> <td>27%</td> <td>8%</td> <td>1%</td> <td>2%</td> </tr> </tbody> </table>		項目	十分達成	おおむね達成	やや不十分	不十分	わからない	⑱ 三者面談や授業参観、行事参観、PTA活動等に出席していますか。	53%	37%	8%	1%	2%	⑲ お子さんは基本的な生活習慣が身に付いていますか。	47%	42%	8%	1%	3%	⑳ 学校からの便りやプリントを見ていますか。	61%	27%	8%	1%	2%
項目	十分達成	おおむね達成	やや不十分	不十分	わからない																					
⑱ 三者面談や授業参観、行事参観、PTA活動等に出席していますか。	53%	37%	8%	1%	2%																					
⑲ お子さんは基本的な生活習慣が身に付いていますか。	47%	42%	8%	1%	3%																					
⑳ 学校からの便りやプリントを見ていますか。	61%	27%	8%	1%	2%																					
〔成果と課題〕 <p>教職員による自己評価では、⑲「基本的な生活習慣の確立に努めている」の肯定的回答が、前年度より0.5ポイント上がった。これは、生徒の学習に向かう姿勢がきちんとしてることや、行事等にしっかりと取り組む姿があることによるものと考えられる。また、他の項目は有意差が見られなかった。</p> <p>保護者アンケートでは、⑱の肯定的回答が15ポイント、⑲の肯定的回答が8ポイント、⑳の肯定的回答が15ポイント上がった。保護者の学校へ向ける関心や知ろうとする意識が高いことをうかがわせるものとして捉えることができると考える。また、生徒アンケートでは優位差が見られなかった。</p>																										

(7) 全体総括

〔学校関係者評価〕

- ・キャリア教育優良校として文部科学大臣表彰を受賞されたことお祝い申し上げます。目標達成に向けての持続性のある教育推進と生徒会を中心に生徒一人一人が主体的に取り組まれた結果と思います。
- ・挨拶活動の推進については、朝の見守りで生徒の挨拶が年ごとに増えていると感じています。最近男子の生徒の挨拶が特に良くなっています。
- ・「おおむね達成」を含めると妥当な数値になっているように思いますが、どの設問にも「十分達成」の少ないことが気になります。生徒が自信を感じられるようご指導・ご支援をお願いしたいと思います。
- ・⑩いじめ・不登校の未然防止については、学校の姿勢として100%を目指していただきたいと思います。いじめと不登校は同一ライン上にあるものではありませんが、誰もが安心して生活することについて学び、家庭や地域で実践、真の意味での安全・安心、平等につながってほしいと思います。
- ・先生方の積極的な姿勢が生徒たちを勇気づけるのではないかと思います。
- ・生徒さんたちは自分自身のことを頑張っている、やっている、できていると評価しているところに充実した楽しい日々を送っているのだらうと感じました。
- ・⑳「保護者は学校からの便りやプリントを見えていますか」はこのアンケートの数値が正しいのかと感じました。保護者同士の話で「学校からのプリントを親に見せないよね」ということをよく耳にするので、そう感じます。
- ・課題であった「挨拶ができる」の肯定的回答が大きく増えているのが素晴らしいです。意識をして積極的に取り組むことで成果につながったと感じます。
- ・④確かな学力、⑦ICTの活用、については、先生方の自己評価が低かったようですが、生徒・保護者とも肯定的回答が増加したことからGIGA 達末をしっかりと活用して、工夫がなされた授業をされていると感じました。
- ・⑩いじめ、不登校については、生徒・保護者の肯定的回答が低いことが気になります。別室授業、家庭訪問など様々な対応がなされていることは、子どもも保護者も理解していますが、不登校の生徒数が多いと感じているからゆえだと思います。
- ・⑰体罰・不適切な指導

のポイントが大きく下がったことも気になります。その理由を知ることができたら改善していけるのではと思います。

〔総括〕

- ・4年間の中期重点目標（平成30年度から令和3年度）として、6項目20の目標を示し取組を進めてきた。今年度がその最終年度となったが、20の目標における自己評価は、「⑨かわさき共生*共育プログラムの実施と活用」を除き、おおむね目標を達成していると評価することができる。
- ・生徒アンケートにおいては、昨年のポイントを上回るものが6つあり、「③進んであいさつができますか」「⑤優しさや思いやりの心が育っていますか」「⑦ICTを活用する力がついていますか」「⑪防災学習の推進に努めていますか」「⑬本校は部活動に係る方針に則り部活動が行われていますか」「⑮本校は教育活動の改善に努めていますか」があげられ、今年度の重点目標と2つが重なるものであった。これに対して昨年のポイントを下回るものは2つあり、「②生徒が主体となる行事や委員会活動に進んで取り組んでいますか」「⑰体罰や不適切な指導の根絶が図られていましたか」があげられる。
- ・保護者アンケートにおいては、昨年のポイントを上回るものが9つあり、「③お子さんは進んであいさつができますか」「④基礎・基本の学力が身につけてきていますか」「⑤お子さんは優しさや思いやりの心が育っていますか」「⑦お子さんにICTを活用する力がついていますか」「⑬本校は部活動に係る方針に則り部活動が行われていますか」「⑮本校は学校評価を行い教育活動を進めていますか」「⑱三者面談やPTA活動等に出席していますか」「⑲お子さんは基本的な生活習慣が身につけていますか」「⑳学校からの便りやプリントを見えていますか」があげられる。これに対して昨年を下回るものは6つあり、「⑧学習相談室やオープン教室を設けていることを知っていますか」「⑨アンケートやQ&Aを実施し、生徒理解に努めていることを知っていますか」「⑫学校は教育環境の整備に努めていますか」「⑭本校は研究・研修を行っていましたか」「⑯本校では公務員倫理の確立が図られていましたか」「⑰本校では体罰や不適切な指導の根絶が図られていましたか」があげられる。
- ・学校評価の結果より、次年度においては、「②生徒会活動の充実」「⑧支援教育の推進」「⑨かわさき共生*共育プログラムの実施と活用」に特に力を入れて取り組む必要があると考える。
- ・また、かわさき教育プラン第3期実施計画に鑑み、「①キャリア在り方生き方教育の推進」については、継続して取り組んでいくものとする。